

かくだ市議会だより



第410回定例会

- 質疑・討論 2～3
- 予算審査特別委員会 4
- 議案審議結果 5
- 会派代表質問 6
- 一般質問 7～13

第409回臨時会

- 本会議の概要について 6

角田市議会から

- 角田市議会会議規則の一部改正について 13
- 議会日誌 13
- 2/13福島県沖地震に係る被害状況等について 14

【今号の表紙】『蔵王を映す』

田植えの終わった田んぼに、残雪の蔵王が、鏡のように映っている風景です。

《撮影》角田市坂津田 吉田 広 さん

撮影日：2020年5月8日

場 所：枝野字大坊地内

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第410回
2月定例会

第410回定例会は2月17日から3月17日までの29日間の会期で開かれました。

一般質問では11人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

市長から提案のあった条例の制定・改正、補正予算、新年度予算などの議案24件を原案のとおり可決し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適応としました。

また、議員提出議案が1件提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

■一般・特別会計補正予算一覧

会計区分		補正額(2月)	補正後の額
一般会計(令和2年度)		399,018	19,614,058
一般会計(令和3年度)		40,905	13,160,905
特別会計	国民健康保険事業	▲22,412	3,393,888
	後期高齢者医療	▲7,071	350,506
	介護保険	30,407	3,307,374

■一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入)		補正額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)		131,267
防災・安全社会資本整備交付金(道路)(令和2年度)		76,750
新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(令和3年度)		118,404

歳出(支出)

項目		補正額
障害者総合支援事業(令和2年度)		36,000
住社橋橋りょう整備事業(令和2年度)		176,692
新型コロナウイルスワクチン接種事業(令和3年度)		182,625

議案第11号

児童厚生施設条例及び角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正

角田市保育施設等統廃合基本計画に基づき、児童遊園の利用状況の確認、設置されている地域の意見を踏まえ、再編を行うための所要の改正を行うもの。

〔継続する児童遊園〕

5施設

(立町、裏町、関ノ内、藤田、笠島)

〔廃止する児童遊園〕

9施設

(中島上、横倉、小田、枝野、藤尾、東根、桜北郷、高倉)

問 横倉児童遊園の遊具撤去の理由は。

答 子どもの心のケアハウスの先生と協議し、決定した。

議案第12号

介護保険条例の一部改正

第8期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者人口の増加により、介護サービス利用者の増加に伴う介護保険給付費の増加が見込まれるため、理由により、所要の改正を行うもの。

問 令和2年度基金残高見込額が、2億8,414万7千円あることから、介護保険料率を改定しなくてもいいのでは。

答 基金残高が多く積んであるように見えるが、宮城県国民健康保険団体連合会へ2億4千万円を支払う予定である。以上のことから残高が減るため、改定せざるを得ない。

介護保険料(令和3年度～令和5年度)

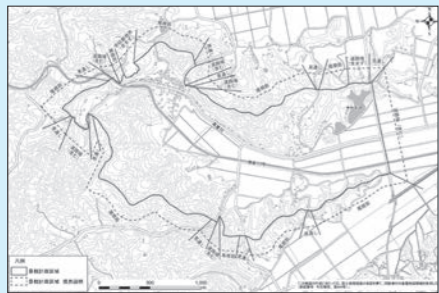
段階	対象者	改正後の年額保険料(改正前との比較)
第1号	●生活保護、老齢福祉年金を受けている人 ●世帯全員が住民税非課税で合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の者	34,200円(+600円) ※1:20,500円
第2号	●世帯全員が住民税非課税で、年金収入等が80万円超120万円以下の者	51,300円(900円) ※1:34,200円
第3号	●世帯全員が住民税非課税で、年金収入等120万円超の者	51,300円(900円) ※1:47,800円
第4号	●本人が非課税かつ年金収入等が80万円以下の者(課税世帯)	61,500円(+1,100円)
第5号(基準額)	●本人が住民税非課税で、かつ、年金収入等が80万円超の者(課税世帯)	68,400円(+1,200円)
第6号	●本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の者	82,000円(+1,400円)
第7号	●本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の者	88,900円(+1,600円)
第8号	●本人が住民税非課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の者	102,600円(+1,800円)
第9号	●本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上の者	116,200円(+2,000円)

※1:消費税による公費を投入した軽減措置後

議案第9号

角田市景観条例の制定

景観法の規定に基づく必要な事項を定めるとともに、市の景観の形成に関し基本となる事項を定めることにより、市の良好な景観を守り、育むことで、市民等が愛着と誇りを感じ、人々の心に残る景観の保全及び創造を図ることを目的とし制定するもの。教育厚生建設常任委員会における審査では、「原案可決すべきもの」と決したが、本会議の表決においては、「原案可決」となった。



▲高倉川農村集落地区



▲角田市中心部地区

教育厚生建設常任委員会での質疑

問 景観法の規定に基づく必要な事項を定めるとともに、市の景観の形成に関し基本となる事項を定めることにより、市の良好な景観を守り、育むことで、市民等が愛着と誇りを感じ、人々の心に残る景観の保全及び創造を図ることを目的とし制定するもの。教育厚生建設常任委員会における審査では、「原案可決すべきもの」と決したが、本会議の表決においては、「原案可決」となった。

答 令和元年5月、9月、令和2年8月の3回開催し、出席者は23人。件数は2件でした。

問 市主催で、住民説明会の開催又はパブリックコメントの実施をすべきではないか。

答 県主催の住民説明会をした際に、市も関与し説明をしているため、事前の説明はしたと考えている。併せて、県でパブリックコメントも実施しており、意見等は反映されていると考えている。



問 角田市都市計画審議会の意見は聞かないのか。

答 今現在は、県の計画のため審議会の意見は聞いていない。今後、市独自の計画を策定する際、様々な意見を取り入れながら、審議会に諮ることになる。

問 なぜ、7月1日施行なのか。

答 景観団体への移行時期、条例提案、その後の周知期間を考慮している。今後、事業者・市民に向け、説明会を開催する予定である。

反対討論……八島 定雄

介護保険料について、特に第1号被保険者の保険料が、低所得者に過酷なまでに重い負担となっている。逆進性の強さは、消費税以上といったもよい。介護保険料を滞納すれば、給付制限が待っている。食生活、生活環境などから低所得者ほど、要介護状態になりやすい傾向にある。そうした人ほど保険料が負担できず、給付制限を受ける可能性が高くなる。給付制限は、滞納が悪質であるような場合に限り必要最小限度にとどめるべき。

賛成討論……湯村 勇

第8期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、3年ごとに見直すための改正である。その主な理由は、

賛成討論……湯村 勇

本条例は、市の景観の形成に関し基本的となる事項を定め、市民等が愛着と誇りを感じ、人々の心に残る景観の保全等を図ることを目的とするものである。また、仙南2市7町足並みを揃え広域的に制定するものでもある。7月1日の施行までには関係者に対する説明会を開催する時間的余裕もあることから、賛成の立場で討論する。

反対討論……菊地 利衛

景観条例の目的である「良好な景観を守り、育むこと」には賛同するが、「市民及び事業者の『責務』が発生し、市の勧告、命令に従わない市民及び事業者の氏名を公表できる」など罰則があるにもかかわらず、「市主催の『市民の意見公募手続き』が開催されないこと」「市民への周知と理解が無く実効性に疑問があること」「何が良くて何が悪いのかを判断する景観形成基準すら未だ示されていないこと」を理由に反対討論する。

反対討論……八島 定雄

角田市独自の住民説明会を開催し、市民から、様々なご意見を頂戴し、角田市のあるべきまちづくりと整合性のある・特色ある「角田市景観条例」を制定すべき。「景観計画」の作成時期を問うと、向こう3年ほど要するとの回答で、それほど急ぐ必要はなく、再度、広く市民に呼びかけ住民説明会を開催した後でも、支障はない。市民、事業者の十分な理解と協力が得られてこそ、円滑な「角田市景観条例」の推進が図られる。

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席

Table with columns: 会議名, 提出者, 議案番号, 件名, 審議結果(賛成・反対), 会派一心, 市民クラブ, 日本共産党角田市議員, 志政クラブ, 無会派. Rows include 角田市景観条例の制定について, 介護保険条例の一部改正について, etc.

議長（渡邊 誠）は採決に加わらない。

全員が賛成したもの

Table with columns: 会議名, 提出者, 議案番号, 件名. Rows include 人権擁護委員の候補者の推薦について, 令和2年度角田市一般会計補正予算(第15号), etc.

人権擁護委員の候補者の推薦

《再任》吉水ひろみ
○任期
令和3年7月1日～令和6年6月30日

皆さんからの陳情

●女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情
・岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子1076番4号
浅利 志津子 ほか16人

令和3年度 各種会計予算総括表

(単位：千円)

Summary table of budget items including 一般会計, 特別会計, 企業会計, 水道事業, 下水道事業, 合計. Columns: 会計区分, 令和3年度金額, 令和2年度金額, 増減額, 増減率.

2月26日に設置された予算審査特別委員会では、全委員で質疑を行いました。各種会計予算は、左表のとおりです。

令和3年度 予算

黒須市長、初の当初予算編成

令和3年度

一般会計予算

行政区等事業

行政区長謝礼が大幅に増額した理由は、令和3年度より行政区長の活動内容を、従来の行政区長が行う活動と国の集落支援員制度に基づく活動に分けて実施するためである。

令和3年度より行政区長の活動内容を、従来の行政区長が行う活動と国の集落支援員制度に基づく活動に分けて実施するためである。集落支援員制度は人口集中地区を除く地域に配置でき、人件費については特別交付税の対象となる。行政区長の報酬費については、現在の基本月額1万9,500円が2万5,200円、一人につき年間6万8,000円の増額となる。

新型コロナウイルス感染症対策教育支援体制整備事業

令和2年度からの継続事業であり、新型コロナウイルス感染症対策と学習保障の両立に向けた

令和2年度からの継続事業であり、新型コロナウイルス感染症対策と学習保障の両立に向けた

企業誘致促進事業

工業用地適地基礎調査業務と企業立地奨励金の詳細を定める。

工業用地適地基礎調査業務は、地勢、交通関係、農地や都市計画など各種法令に係る工業用地の造成について基礎調査を行い、概算の造成費用の積算を行うものである。併せて企業のアンケート調査やヒアリングも行っていく。奨励金にはメニューが2つあり、企業立地奨励金は、固定資産税、都市計画税を対

人・農地プラン推進事業

新規就農者支援事業補助金の補助対象経費の内訳は。

新規事業であり、明確な経営計画をもって取り組む新規就農者に対して補助を行う。補助対象経費は農業機械や施設であるが、汎用性の高いものは補助対象外である。なお、中古の農業機械や設備についても対象となる。

反対討論……八島定雄

議案第16号は、マイナンバーカードに紐づけされた健康保険証の運用が、今年3月から開始となる(現在延期)。これは事実上の強制であり、やがて国民の所得や資産、医療、教育など膨大な個人情報

議案第18号は、コロナによる受診控えと重なり、命と健康の視点から大変深刻な状況である。この時期に、窓口負担を2割に引き上げるのは、受診控えに追い打ちをかけ、無慈悲とも言える。

賛成討論……湯村 勇

一般会計予算は前年度に比べ増額しているが、令和元年東日本台風の災害復旧事業に尽力するため、令和2年度中に一部中止していた道路事業等を再開することにより増額になったものである。歳入についても、大変厳しい状況の中、確実な財源確保を図り、持続可能な行政運営をするために配慮された予算で一定の評価をする。各種特別会計予算においても安心安全、健康づくりの推進、医療・介護・福祉の推進等、市民の必要不可欠な予算であることについて理解をする。

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質問することができます。
質問した議員ごとに要約してお知らせします。

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
小島 正	企業誘致の専門部署について その他の質問 ・災害に備えた強靱化策について	10
日下 七郎	角田市と丸森町の境界に関することについて その他の質問 ・小・中学校の学校用地に関すること及び小・中学校の所在地について 令和2年7月12日執行角田市長候補者の公約に関することについて	10
小湊 毅	角田市第5次行政集中改革プラン(案)について	9
八島 定雄	角田市と丸森町の境界に関することについて その他の質問 ・特別障害者手当について	9
堀田 孝一	消防団の支援策について	8
星 隆悦	中島上市宮住宅地跡地活用計画について 自治センターの今後のあり方について 子育て支援基金の創設について その他の質問 ・市職員の働き方改革について ・ケアハウスについて	8

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
菅野 マホ	「市政の主役は市民。ひとりの意見も取り残さないために」について 「市のバスを有効利用し、健康長寿をめざそう」について 「食料自給率向上と、友好都市との連携強化」について	11
武藤 広一	角田市「おくやみコーナー」設置について 市内水田への「田んぼダム」設置について モデル工業団地の造成について	11
馬場 道晴	新型コロナウイルスワクチン接種について 「パルスオキシメーター」の貸し出しについて	12
菊地 利衛	若年層の定住率拡大のための雇用創出に向けた地場産業の育成について 二酸化炭素排出実質ゼロ宣言について	12
戸村眞喜夫	道の駅かくだ出荷者への生産販売支援について JAみやぎ仙南角田ライスセンターの穀物乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)稼働について 農業の館の堆肥利用による園芸振興(環境保全型農業)について	13

会派代表質問 (市長の施政方針を問う)

議員▼施政方針の「重点項目の達成を目標として、財政改革に特化して策定する」「第5次行政集中改革プラン(令和3年度・令和8年度)」に基づき、可能な限りの収入確保と例外なきダウンサイジング化(規模を縮小すること)に取り組み、持続可能な行政運営を進めてまいれる所存であります。」とは何か。
市長▼持続可能なまちづくりを実現するため、厳しさを要す財政状況の取り組みが必要不可欠な状況となっており、第5次行政集中改革プランは、財政状況改善に資する可能な限りの取り組みを進める。歳入では、臨時的収入も含め財政の確保に全力を尽くし、企業誘致等の実現による安定財源の確保策に取り組む。歳出では、将来の人口減少や人口構造を捉えた各分野のダウンサイジング化に取り組む、持続可能な行政運営の実現を図る。
議員▼前市長の第5次長期総合計画の最終年度の取組を具体的な方針としているが、市長選で公約した独自政策を確

認したい。
市長▼選挙公約を実現するため、特に、防災・減災対策、財政の健全化、企業誘致の準備、包括的な福祉に係る地域政策を指針としている。
議員▼新型コロナウイルス感染症問題について、介護施設等での感染症防止対策として市独自でPCR検査の実施を求める。
市長▼PCR検査は県対応となっており。
議員▼防災・減災事業について、国土交通省が阿武隈川流域治水プロジェクト計画での堆積する土砂を浚渫し、阿武隈川の河道の断面を広く深くし、流量確保や水位を下げる事業の促進を求めているが、市内の洪水防止対策と思うが、市長▼流域治水の阿武隈川上流から下流までの全河川に関わる協議会で方針が決まったので、国と協議をしていく。
議員▼角田市は、自主財源が乏しい地方公共団体であり、国に財源を求める必要があると思うが、答弁を求める。
市長▼国に対して必要な財源を求めている。

議員▼「第6次長期総合計画」の策定に当たって、これまでの計画における反省点を踏まえて策定すると言っているが「反省点」とは何か。
市長▼市民の意識調査で、「雇用の確保」「公共交通システムの充実」「防災体制整備」などの満足度が低いことが反省点になる。
議員▼これまでも時代にマッチした計画をつくってきたが、成果が上がっていないのが大きな反省点ではないか。いかに計画を達成するかが重要だ。
市長▼その通りと認識している。
議員▼「例外なきダウンサイジング化に取り組む」としているが、どんなことを想定しているか。
市長▼人口減少を見据え、行政規模の適正化や事務の効率化を図る。学校の統廃合、児童保育施設の廃止などを進める。
議員▼3年後、5年後のビジョンを示してからダウンサイジングという言葉を使うべきで、初めからダウンサイジングありきでは理解が得られない。
市長▼その通りである。計画に基づくべきだ。最初にスク

ラップがあるのではなく、ビルドがあつてスクラップがあると言うことを注意して行きたい。
議員▼「企業誘致について、情報収集に努める」とあるが、実績が伴っていない。これまでどこが違うのか。
市長▼指摘の通りである。その反省を踏まえ、工業用地を確保する。
議員▼角田の命運がかかっている中で、職員が十分動ける体制をつくり、形に残る実績を出してほしい。工業用地を活用した企業誘致のスケジュールをどのように想定しているか。
市長▼令和4年度に用地買収、販売は令和5年度以降になる。
議員▼「安心して妊娠・出産・子育てが出来るよう支援する」とあるが、近くに産婦人科や小児科がないので、地理的なハンディを感じさせないような支援体制が必要だ。「角田を元気にする根本」であるため優先的に予算配分をすべきだ。交通費などの支援を考えているか。
市長▼交通費の支援は考えていない。

第409回臨時会が2月9日に招集され、1日の会期で行いました。

この臨時会では、令和2年度角田市一般会計補正予算(第13号)の専決処分報告、市長提出議案の令和2年度角田市一般会計補正予算(第14号)を審議しました。

令和2年度一般会計補正予算(第13号)は、歳入歳出それぞれ3億3,650万2千円を追加するもので、審議の結果、全会一致で可決しました。主なものは、歳入では、ふるさと納税寄附金の追加、議長より提案した学校給食費納付金の減額、歳出では、学校給食センター運営経費を減額するものです。

また、令和2年度一般会計補正予算(第14号)は、歳入歳出それぞれ5,176万2千円を追加するもので、補正の主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種委託料、飲食事業者等事業継続応援金を追加するもので、審議の結果、全会一致で可決しました。
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 247人



中島上市営住宅地跡地利活用計画について

星 隆悦



▲中島上市営住宅地跡

議員▼市営住宅を建て替える際、現入居者への対応をどう考えているか。市長▼移転先をしっかりと確保し対応していく。議員▼公営住宅等長寿命化計画を策定中だが、今後の市営住宅の必要数について問う。市長▼国の公営住宅等長寿命化計画策定方針に基づき必要の見直しを検討し、10年後は262戸と見込んでいます。議員▼市営住宅は、現在の12カ所508戸から10年後には半数程度になると推計するかどうか。市長▼今後、公営住宅等長寿命化計画で示す。議員▼シルバータウンという位置づけで、市営賃貸住宅のような一戸建て高齢者向け住宅整備を提案する。市長▼中島上住宅用地は立地的・面積的に重要な用地であり、具体的な建替計画は、今後検討する。議員▼市営住宅の整備に民間のノウハウ・資本の導入を計ったかどうか。市長▼民間活力の導入を可能とするPFI事業等も視野に入れ、財政負担の軽減を図る手法を検討する。

自治センターの今後のあり方について 議員▼地域づくりの拠点という理念が、地区民にどの程度理解されているか。市長▼教育委員会から市長部局へ移管して1年が経過し、住民の理解度も深まっている。議員▼自治センター職員の辞令は市長が交付するが、予算は教育費に計上しているのは何故か。市長▼条例に基づき、市長部局で管理運営できるからである。議員▼現在、管理・運営は直営だが、今後、NPO法人、協同組合、地区振興協議会への指定管理者制度の導入を図る考えはあるか。市長▼指定管理者制度自体の導入は、当面、その状況にない。



▲角田自治センター

子育て支援基金の創設について 議員▼子育て支援基金の創設を提案する。3億円を積み立て、学校給食費の一部(例えば年間給食費の1/3、3,000万円)に充て、将来の無料化への道筋をつくる。市長▼目的の明確化、必要性も含め検討する。

議員▼平成31年3月、条例改定により消防団員の定数を600人(100人減)、また、団員の定数を延長したが、令和2年10月1日現在の団員数は586人と定数を延長したものの、団員数が年々減少している。どのように捉えているか。また、今後、団員の確保をどのように進めるのか問う。

消防団の支援策について

堀田 孝一



市長▼定数を延長することにより団員の確保と育成に努めてきたが、定数による退職とは別に、勤務などによる市外への転出や個別の事情による退職も増加しており、消防団員の減少に歯止めがかかっていない状況にある。今後とも人口減少の傾向は続くものと思われ、定年退職者が増える令和4年度からは退団者が増加することが想定され、引き続き、入団の勧奨や消防団の待遇改善などを行い、消防団員の減少対策に取り組んでいく。議員▼消防団OBによる予備消防団設置について問う。市長▼消防団員が減少する中で、消防団組織体制を見直し、持続可能な組織体制の確立を目指して現在組織の見直しに取り組んでいる。消防団OBの活動としては、身分の保証や、けがなどの補償について対応する必要がある。能力などに応じて特定の活動のみに従事する機能別消防団員として活動していただくことが想定されるが、今後の消防団組織の再編状況と消防団員数を踏まえて消防団と協議していきたい。議員▼女性消防団員について問う。市長▼労働基準法等により女性の就業に一部制約

があり、検討課題となっている。本市では、防火クラブがすべて行政区で組織され、女性消防団員が担う業務として想定される火災予防の普及啓発運動なども行っている。今後の火災などの予防活動を維持するために、女性消防団員の登用・参画の方法についても検討していきたい。議員▼人口減少社会における持続可能な消防団体制の確立に向けて、5年後、10年後を見据えた見直しを行っていくとすれば、具体的にどの様に考えているのか。市長▼平成30年11月から12月にかけての消防団幹部を対象にしたアンケートより、地域的な状況などを考慮し、5年後、10年後を想定した部・班体制の検討を行ってきた。考え方としては、まず団員が少なく、消防・予防活動、機械器具操作など、消防団活動に支障が生じている班は、活動を統合し、班長に異動があった時点で班の統合を行う。次に分団ごとの状況を踏まえ、班の整理を5年後までに行い、班を含む部の整理を10年後までに行う予定。なお、令和3年度から現在の36部の74班を、34部の64班に変更し、その後も体制の見直しを行っていく。

学校教育をめぐる諸課題について

八島 定雄



議員▼市内の小中学校で新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策をどのように実施してきたか、教育長に問う。教育長▼新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づき、感染源を絶つ、感染経路を絶つ、抵抗力を高めることの3つのポイントを踏まえ、取組みを行っている。具体的には、児童

生徒は、登校時の健康観察や外から帰ったときやトイレの後などの小さな手洗い、手指の消毒、マスクの着用を指導。また、毎日、教職員によるトイレや洗面所、ドアノブ、手すりなどの清掃、消毒等を行っている。さらに、普段にも増して十分な睡眠や適度な運動を行い、免疫力を高めるよう指導している。議員▼デジタル教科書の対象校として実施する方向で手を挙げているのか問う。教育長▼角田小学校、角田中学校、金津中学校において学習者用デジタル教科書実証事業への参加を希望している。議員▼全学年ではないと思うが、どうなっているのか。教育長▼角田小学校の場合、5・6年生の算数、角田中学校の場合、1・2・3、全学年での数学、金津中学校は、同じく全学年での国語。

議員▼デジタル教科書の導入に関して、どのような見解をお持ちか問う。教育長▼令和3年度は、デジタル教科書の実証に参加し、教育効果の検証を行う予定。そのことが紙の教科書の廃止につながることは考えていない。デジタル教科書は、様々なデジタル教材と組み合

わけて効果の高い使い方が期待されることも、重くなっているランドセルがICT端末の利用により軽くなることが期待される一方、課題として導入に当たり多額の費用負担の発生が考えられる。議員▼1キログラム当たり8,000ペグレル超の農林業系放射能汚染廃棄物について、現在の保管状況を問う。市長▼現在、稲わらが6カ所7.1トン、牧草が1カ所2.0トン、保管されている。議員▼保管の体裁、野積みで風雨にさらされているのか問う。市長▼1カ所はパイプハウス内に保管。残りは農地に保管されている。稲わらは、ロールなどでラッピングされているが、一部、ラッピングが剥がれていたりするところもあると確認しており、現在、県と対応を協議している。議員▼これまで、何の対応もしてこなかったのは問題あるのではないかと。市長▼今の御指摘、重要だと思つ。きちんと保管することにまついて、今後、検討してまいりたい。また、県とも相談をしたい。

議員▼先日、令和3年度を対象とした「角田市第5次行財政集中改革プラン」が案として提示された。①経常収支比率の改善、②臨時的収入の確保、③簡素で効率的な行政経営の3つの取組方針を行うこと、④持続可能な行政経営の実現(財政調整基金残高12億円以上の確保)とある。持続可能な行政経営の実現は、財政調整基金残高12億円以上の確保によって可能になるとのことだが、その根拠は何か。市長▼ここで示している財政調整基金残高12億円以上の確保については、本市の財政規模から見て最低限確保しなければならぬものである。持続可能な行政経営についての判断は、その他の要素を含め考えていく必要があるものである。プランの中では、財政調整基金残高だけに着目した表現とされているが、市債残高の適正化やあらゆる方策を

角田市第5次行財政集中改革プラン(案)について

小 湊 毅



講じた上での収支状況の改善などが達成されなければならぬと考えている。誤解が生じないように、表現に修正を加える。議員▼市税等の収支の向上として、企業誘致向け工業用地造成することを掲げていることには大いに賛成する。企業誘致の為に県に職員を派遣することもなく、オーダーメイド方式というものにより工業用地が無い為に県の企業誘致活動の対象にも挙げられない状況が30年ほど経過して、結果、現在の角田市の状況になったと考える。先日、第1回目のプロジェクトの会合が開催されたとのことだが、どのような方針、成果が出たのか。市長▼令和2年12月、宮城県より、令和3年度に工場立地基盤整備関係予算が拡大予定である等の情報を提供頂き、その内容を踏まえ、造成費用、用地の売却、規模及び候補地等について、検討を

早期に工業用地適地基礎調査を実施できるよう努めている。また、各企業市内の企業を回り、具体的な声を収集させて頂いている。様々なことを加味しながら、適地を探していきたい。議員▼各種団体に対する交付金や補助金は、今後下がっていくものと認識しているが、一部団体へは、横ばいのまま、もしくは増額されている。行財政集中改革プランと相反する。市長交際費も毎年100万円が予算計上されており、削減していく意志がないのではないかとすら受け取れる。市長▼今後、しっかりと精査していかなくてはならない。それぞれの団体にも努力をさらにして頂ければいけないと思つている。相手あつてのことなので、交渉しながら、あるいは相手の業態、状況を勘案しながら、しっかりと対応していく。



角田市と丸森町の境界に
関することについて

日下七郎

議員▼1958年4月に、角田市での国土調査による公図を作成され、丸森町で国土調査による公図が作成された。

その後の災害時に、災害復旧工事のために、測量士が角田市の作成した公図、丸森町で作成した公図を復元したところ、角田市と丸森町の境界である角田市枝野字上中島136と丸森町館矢間館山字加川88-2にすぎま(空白地)がで、当時、角田市の国土調査の分掌事務担当の税務課にも報告があったと思われる。

先日、仙台法務局大河原支局にて、角田市枝野字上中島136と丸森町館矢間館山字加川88-2の公図を申請し、交付されたのを確認して、丸森町役場にも訪問し、担当課職員に確認したところ、丸森町館矢間館山字加川88-2ということ、国土調査の公図が存在し、

交付された。

ここで、角田市と丸森町で国土調査に関することでの協議を行って、角田市と丸森町の境界を確定すべきと思うが、市長の答弁を求めます。

市長▼ご指摘の境界問題については、昭和54年頃より所有者間の境界問題があり、個人間の境界問題が市町間の境界の問題となつています。昭和30年度に角田市が先行する形で国土調査を行い、その後、丸森町で国土調査が行われた際に、公図と公図の間に空白地が生じたもの。空白地の解消については、まず、個人間の現地の境界の確定が必要である。その境界確定に基づき、公図の訂正となり、市町境界が確定となる。

市町境界の把握については、行政運営に関わる重要事項と認識しているため、引き続き、丸森町と協議を行い、現地の境

界確定を進めていく。市町境界については、地方自治法に則り進める。

議員▼冒頭、質問で示した、測量士が作成した公図の復元の写し(コピー)の出版は、当時の国土調査の分掌事務の税務課にあり、先ほど(1)目目「小中学校の学校用地に関すること及び小・中学校の所在地について」において、学校用地の国土調査での筆界未定など、次の担当者に引継ぎを行うべきではないか。

市長▼今、丸森町との境界のことも含め、今回の一般質問にて指摘された部分については、特に、引継ぎを行ってきちんと早期に処理をするという職務がなされなくてはならない案件だ。きちつと引き継ぎながら、間違いない境界であったり、敷地の確定をしていくことに努力したい。

「市政の主役は市民。ひとりの意見も取り残さないために」について

菅野マホ



要かどうか、調査検討する。頂いた意見は公開するよう調整する。

議員▼公共施設に市民向けのパソコンを設置して意見を送信することや、情報をプリントアウトするサービスを行うのはどうか。

市長▼検討したい。今、スマートフォンやタブレットの活用が浸透しているため、使いやすい画面をさらに進めていきたい。

「市のバスを有効利用し、健康長寿をめざそう」について

議員▼中核病院への送迎は、市民が期待している。仮に全額が市の負担でも確保して頂きたい。

市長▼本年度、試験的に角田から中核病院まで交通の実証実験を行いたい。それだけの利用者がいるか、要望があるのか一定期間実施し、その上で検討する。

議員▼(コロナ後)市内を含め、近隣の温泉や買い物に行くバスを要望頂いている。健康相談や血圧測定を行う高齢者が生かされる「周遊健康バスツアー」を提案したい。

仙南地区で相互に運営すれば、活性化に貢献できるのではないか。

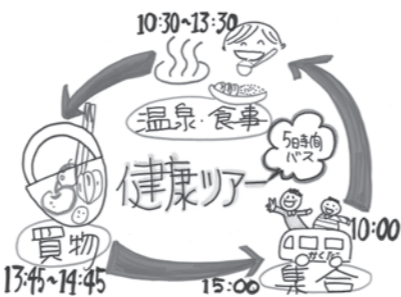
市長▼民業圧迫の懸念や内容の検討が必要だが、大変面白い企画と思うので仙南地域の首長や民間事業者に提案してみたい。

議員▼遊休地はどの位あり、利用促進の計画はあるか。また、災害時の「協力井戸」の募集や、新たに井戸を掘る予定はあるか。

市長▼農地面積5,060haのうち、25ha(0.5%)が遊休農地で計画はないが受け手を検討したい。協力井戸の募集は行っていない。郷土資料館敷地内の井戸を災害時の生活用水として活用できるように検討している。

議員▼角田産農作物を友好都市の目黒区や、姉妹都市の石川町、栗山町、米国のグリーンフィールド市の店に「角田市物産コーナー」を常設し販売してはどうか。

市長▼大変有効なことだと思う。市長のトップセールスを含め検討したい。



「食料自給率向上と、友好都市との連携強化」について

議員▼窓口手続きのワンストップ化は遺族にとっても、職員にとってもメリットがある。本市での「おくやみコーナー」設置に向けて早急に進めるべきだ。

市長▼ご遺族の方に対し、個別に対応しており長時間待たせる状況にはない。早急にとの提案だが、事務室のスペースや人的な問題もあるため、先進地の取組を参考にできるところから始めたい。

議員▼市内水田への「田んぼダム」設置について

議員▼令和元年東日本台風を踏まえて、田んぼダムを早急に設置する必要がありと考えるが、市長の所見を問う。

市長▼田んぼダムは、田んぼの多面的機能の一つである水をためる能力を利用して、大雨時に一時的に水をため、河川への負担を軽減する取組である。本市においても、角田市防災・減災構想(案)では、角田市全域での防災・減災対策として、田んぼダ



角田市「おくやみコーナー」設置について

武藤広一

議員▼窓口手続きのワンストップ化は遺族にとっても、職員にとってもメリットがある。本市での「おくやみコーナー」設置に向けて早急に進めるべきだ。

市長▼ご遺族の方に対し、個別に対応しており長時間待たせる状況にはない。早急にとの提案だが、事務室のスペースや人的な問題もあるため、先進地の取組を参考にできるところから始めたい。

議員▼市内水田への「田んぼダム」設置について

議員▼令和元年東日本台風を踏まえて、田んぼダムを早急に設置する必要がありと考えるが、市長の所見を問う。

市長▼田んぼダムは、田んぼの多面的機能の一つである水をためる能力を利用して、大雨時に一時的に水をため、河川への負担を軽減する取組である。本市においても、角田市防災・減災構想(案)では、角田市全域での防災・減災対策として、田んぼダ

議員▼確認だが、今までオーダーメイド方式で行っていたが、今回は2,3カ所を造成した形での販売と理解してよいか。

市長▼そのように想定している。

議員▼西根毛萱地区の振興ゾーンを毛萱字熊野堂付近とし、プロジェクトチームで検討する適地について、及び第6次長期総合計画に取り入れる考えはないか。

市長▼候補地については現時点で明確に示すことはできない。あらゆる側面から検討、選定を行っている最中である。第6次長期総合計画に取り入れることについては、企業誘致に関する方針を記載する方向で検討している。

企業誘致の
専門部署について

小島正



議員▼昔から、事業は人なりと言われているが、企業誘致の専門職及び組織機構の見直しを行い、企業誘致室を設置する考えはあるか。

市長▼企業誘致の実現に向け、商工振興及び企業誘致を担任する商工振興係を商工観光課内に設置し、体制強化を図る。

議員▼企業誘致室なので、

やはり角田市の顔にもなる人材が良く、専門職でならなければならぬ。そのため職員から、手を挙げてもらって、本気で取り組む方法を講ずるべき。

市長▼商工振興係については、そのような精鋭メンバーを配置したい。各課をまたいだプロジェクトチームも組んでいる。

議員▼宮城県などに職員を派遣する考えはあるのか。

市長▼企業誘致に関する情報収集をはじめ、国や宮城県、企業とのパイプをつくるためにも職員を派遣したい。先日、県庁を訪問し、知事をはじめ経済商工観光部長、産業立地推進課長に企業誘致関係部署へ職員派遣を要望した。

議員▼企業誘致は概ね8割近くの地方公共団体で実施している。事業は人なりという言葉があるが、一生懸命やるという人でないと前に進まない。計画的に企業訪問して、つながりをつくる。やはり専門家である不動産業の方々が知識を交えた会議を持って、前に進むべきでは。

市長▼今後、実際に足でその企業等、市内外に向けて訪問をし、情報を集め、セールスをしていく。

議員がいう活動が大事だと思う。

議員▼企業誘致及び地元企業の交流を積極的に行うなど、充実した取組を行う考えはあるのか。

市長▼関連企業訪問による情報収集は必要な活動である。特に、地元企業から他の企業情報をもらうことは有効な手段である。先日、誘致企業等情報交換会を開催し、市内7社と多種多様な意見交換ができた。今後もこのような取組を継続し、誘致企業並びに地元企業と交流を深めていきたい。併せて、企業の意向調査の実施など様々な取組を検討、実施したい。

議員▼グローバル化によって拠点を移す企業が増えつつあり、政府もこれまで以上に地方自治体の企業誘致の取組を後押ししている。国の交付金が支給され、企業誘致に取り組んでいる地方公共団体は8割もある。腰かけでは駄目だ。やはり、企業誘致をするのは不動産業(宅建業)等と連携すること。知識、経験、専門的な能力等がなければ、企業にも相手にされない。これらを踏まえ、より一層、企業誘致に取り組むことを、お願い申し上げる。



新型コロナウイルスワクチン接種について

馬場道晴

議員▼ワクチン接種のスケジュールについて問う。

市長▼接種期間は、令和3年2月17日〜令和4年2月28日まで。最初は、医療従事者等から行われ、その後、高齢者の中でも施設に入っている方、そして高齢者、次に基礎疾患を有する方等の順に接種を進めていく。なお、高齢者への接種の開始は早くとも4月中旬以降と見込まれ、具体的な日程は国によるワクチンの確保状況等により、今後示されると思われる。

議員▼接種は、集団接種や病院で行うなど、どのように行うのか問う。

市長▼高齢者等への接種体制は、市内の3つの病院、4つの診療所で個別接種を実施するとともに、ウエルパークかくだを会場に集団接種を行う予定

議員▼副反応症状などで体調が不良になった方への円滑な救急搬送体制について、広域消防2市7町で協議を行う必要がある。市長の考えを問う。

市長▼副反応症状などで体調が不良になった方への円滑な救急搬送体制について、広域消防2市7町で協議を行う必要がある。市長の考えを問う。

議員▼副反応症状などで体調が不良になった方への円滑な救急搬送体制について、広域消防2市7町で協議を行う必要がある。市長の考えを問う。

市長▼副反応症状などで体調が不良になった方への円滑な救急搬送体制について、広域消防2市7町で協議を行う必要がある。市長の考えを問う。

議員▼高齢者の方や、様々な理由により自力で接種会場に来られない方への対応として、例えばタクシー券の配布、または自宅や施設へ訪問して接種を行う必要がある。市長の考えを問う。

市長▼65歳以上で構成される世帯に属する75歳以上の方や、一定の障害をお持ちの方等に対する福祉タクシー助成事業及び角田市デマンド型乗合タクシーをご利用いただきたい。高齢者施設の入所者や、往診利用者は、別途、接種方法を検討中である。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。

議員▼新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者へ、「パルスオキシメーター」の貸し出しを行う考えはないのか、問う。

市長▼パルスオキシメーターは、既に宮城県で、自宅療養者等への配布を行っている。感染者への対応は、宮城県が行っており、市では個人を特定する情報は持ち合わせていない。県による対応が妥当だと考えている。



道の駅かくだ出荷者への生産販売支援について

戸村 眞喜夫

議員▼開業2年目の道の駅かくだの営業実績はコロナ禍の影響のため、かなり苦戦していると聞いているが、今年度事業の見直しはどうか。また、経営改善や出荷者への販売支援のために、来年度は積極的に販促活動やPR活動をするべきだと考えるが、市として道の駅に対して何らかの支援策を講じる必要がある

市長▼開業2年目の道の駅かくだの営業実績はコロナ禍の影響のため、かなり苦戦していると聞いているが、今年度事業の見直しはどうか。また、経営改善や出荷者への販売支援のために、来年度は積極的に販促活動やPR活動をするべきだと考えるが、市として道の駅に対して何らかの支援策を講じる必要がある

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。

議員▼現在、角田の園芸生産の一部において、農業の館の堆肥を利用して減農薬減化学肥料栽培や有機栽培等の特別栽培農産物生産をしている。しかし、コストがかかる割に販売メリットがあまりないので、園芸生産者が農業の館の堆肥利用が広がっていない。そこで、もつと環境保全型農業を推進する園芸農家に農業の館の堆肥が積極的に利用されるように次のことを提案したい。



若者層の定住率拡大のための雇用創出に向けた地場産業の育成について

菊地利衛

議員▼農業は、雇用の面でも大いに貢献してきた。「世界的な食糧危機や都市の若者の関心の高まり」など背中を押されている。そこで、若者に支持される先進的な農業技術やAIを活用した経営モデルを策定・提案すべきた。

議員▼農業は、雇用の面でも大いに貢献してきた。「世界的な食糧危機や都市の若者の関心の高まり」など背中を押されている。そこで、若者に支持される先進的な農業技術やAIを活用した経営モデルを策定・提案すべきた。

議員▼農業は、雇用の面でも大いに貢献してきた。「世界的な食糧危機や都市の若者の関心の高まり」など背中を押されている。そこで、若者に支持される先進的な農業技術やAIを活用した経営モデルを策定・提案すべきた。

議員▼農業は、雇用の面でも大いに貢献してきた。「世界的な食糧危機や都市の若者の関心の高まり」など背中を押されている。そこで、若者に支持される先進的な農業技術やAIを活用した経営モデルを策定・提案すべきた。

議員▼農業は、雇用の面でも大いに貢献してきた。「世界的な食糧危機や都市の若者の関心の高まり」など背中を押されている。そこで、若者に支持される先進的な農業技術やAIを活用した経営モデルを策定・提案すべきた。

角田市議会会議規則の一部改正について

提案理由

継続的に議会改革について調査・検討をしている議会運営委員会では、定例会における通告に基づく質疑について、質疑が数項にわたる場合、全部一括して述べ、その質疑に対する答弁も一括して受けていました。しかし、質疑者をはじめ、質疑を傍聴する市民の皆様にも、質疑とその答弁内容をより分かりやすくするため、一問一答に変更し、回数も原則2回ではなく、原則3回とする。このことが良いとの結論に至ったためです。

1月	2月	3月	4月
2922日 会派代表者会議	2日 第409回臨時会招集告示・会派代表者会議	2日 予算審査特別委員会(第2日)	126日 議会運営委員会
5日 全員協議会・議員協議会・議会運営委員会	5日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	18日 議会運営委員会
10日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	9日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	17日 議会運営委員会
17日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	16日 議会運営委員会
15日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	15日 議会運営委員会
12日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	14日 議会運営委員会
9日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	13日 議会運営委員会
5日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	12日 議会運営委員会
2日 議会運営委員会	8日 第410回定例会招集告示・会派代表者会議	3日 議会運営委員会	11日 議会運営委員会

令和3年2月13日福島県沖地震に係る被害状況等について

○角田市の地震の概要

区 分	内 容
発 生 日 時	令和3年2月13日23時07分
震 源 地	福島県沖（北緯37.7度、東経141.8度）
震 源 の 深 さ	55km
震源の規模（マグニチュード）	7.3
震 度（県 内 最 大）	震度5強（蔵王町 震度6強）

○被害状況



①▲農業の館脱臭管破損



②▲左関地内水道管破裂



③▲左関地内水道管破裂



④▲角田駅ホーム構内亀裂



⑤▲阿武隈急行線笠島川架道橋亀裂



⑥▲郷土資料館石灯籠倒壊



⑦▲郷土資料館蔵なまご壁落下

※復旧関連費用のうち①②③⑥⑦については、議案第24号及び議案第26号で予算措置し、全会一致で可決しています。

編集後記

先日、角田駅で開催された写真展『かくだ、春から初夏へ』に行ってきました。自然の中で、花や野鳥、虫たちが生き生きと写されていて、写真家の皆さんの腕前もさることながら「角田は美しい」と改めて感動致しました。

東日本大震災から10年、当たり前だと思っていた日常が有難いことだと気づかされ、そして今、“新しい日常”の中でさらに地元のよさに気づくことが増えたように思います。

あなたの感動を写真に載せて、是非「議会だより」へ。
議会だより編集会議

委員 菅野 マホ

6月定例会の予定

会期
6月11日(金)～6月29日(火)

本会議の日程（午前10時開会）	
6月11日	提案理由の説明
22日	質疑・自由討議
25日	討論・表決・一般質問
28日	一般質問
29日	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、当面の間、本会議等の傍聴を中止しておりますので、ライブ配信でご視聴ください。

請願・陳情の提出は
6月4日（金）まで

ライブ・録画配信をやっています

http://www.kakuda-city.stream.jfif.co.jp

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。



また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

第410回(令和3年2月)定例会

インターネットライブ中継視聴者数 延べ 488人

インターネット録画中継視聴者数

1月～3月 延べ 690人



印刷／佐藤印刷株式会社